NO.

064

心理 多数派に流される心理（同調圧力）

The Pull of the Crowd

集団に引っぱられる心

英文の音声

レベル ★★★ 難関 | 300語 | 熟語13個 | 目標3分 | 読んだ日 | かかった時間 分 秒

1 Imagine sitting in a room with seven other people. You are shown a line and asked which of three others matches it in length. The answer is obvious, until everyone before you gives the same wrong answer. Should you trust your eyes, or ❶**go ahead** and agree with the group?

2 This was the setup of famous experiments by the American psychologist Solomon Asch in the 1950s. The other "participants" were actors told to give wrong answers. About three quarters of the real participants went along with the group at least once. Afterwards, many said they had feared that the others would ❷**make a fool of** them.

3 Why do we ❸**conform to** others even when they are clearly mistaken? Humans are social animals, and for most of history, ❹**belonging to** a group was a matter of survival. Being rejected could mean death. It is no surprise, then, that we feel a strong need to ❺**fit in**, or that we ❻**are ashamed of** standing out.

4 Conformity is sometimes said to ❼**be typical of** Japan, where people talk about "reading the air." Yet Asch carried out his experiments in the United States, and similar results have been found in many countries. ❽**There is no denying** that the pressure exists everywhere. An employee may ❾**be obliged to** stay late because everyone else does, and a student who wants to ❿**turn down** an invitation may accept it to avoid seeming unfriendly.

5 Fortunately, the pressure weakens dramatically when even one person disagrees. In Asch's studies, when a single actor gave the correct answer, participants became far more likely to trust their own eyes. So if a friend is being pressured, ⓫**stand by** them. And once you have ⓬**made up your mind** that something is wrong, say so. You might ⓭**talk others out of** a bad decision.

語注 **participant** 参加者 **reject** 拒絶する・仲間外れにする **conformity** 同調 **pressure** 圧力 **dramatically** 劇的に

この英文の熟語 IDIOMS 13個｜番号は英文の中の番号と同じ。覚えたら □ に印

1 go ahead 先に行く・（ためらわずに）進める □□□
「先に行く」のほか、go ahead and do（思い切って～する）、Go ahead.（どうぞ）の形が多い 例 *"May I use your pen?" "Sure, go ahead."* 「ペンを使ってもいい？」「ええ、どうぞ」

2 make a fool of ~ ～をばかにする □□□
人を笑いものにする。make a fool of oneself は「（自分が）ばかなまねをして恥をかく」 例 *Don't try to make a fool of me.* 私をばかにしようとしないで。

3 conform to ~ （規則・習慣など）に従う □□□
形・型（form）を合わせる→従う。名詞 conformity（同調）は心理学の長文の頻出語 例 *Students must conform to the school rules.* 生徒は校則に従わなければならない。

4 belong to ~ ～に所属する □□□
「～のものである」の意味もある（This bag belongs to me.）。状態動詞なので進行形にしない 例 *She belongs to the tennis club.* 彼女はテニス部に所属している。

5 fit in （集団に）なじむ □□□
型にぴたりと収まる→溶け込む。fit in with（～と調和する）の形も多い 例 *It took him a while to fit in at his new school.* 彼が新しい学校になじむまでにしばらくかかった。

6 be ashamed of ~ ～を恥じている □□□
自分のしたことや自分自身を恥ずかしく思う。be embarrassed（気まずい・照れくさい）とは意味の重さが違う
例 *He was ashamed of having told a lie.* 彼はうそをついたことを恥じていた。

7 be typical of ~ ～に典型的である □□□
「いかにも～らしい」の意味でも使う（It's typical of him to be late.＝遅刻するなんていかにも彼らしい）
例 *This kind of house is typical of the region.* この種の家はその地方に典型的なものだ。

8 There is no ~ing ～することはできない □□□
It is impossible to do と同じ意味。There is no denying that ～（～は否定できない）、There is no telling（分からない）が定番 例 *There is no knowing what will happen tomorrow.* 明日何が起こるかは分からない。

9 be obliged to do ～せざるをえない □□□
規則や事情によって義務を負う。have to / be forced to と近い。I'm much obliged.（大変感謝しています）の用法もある 例 *We were obliged to cancel the trip because of the storm.* 嵐のため、旅行を中止せざるをえなかった。

10 turn down ~ ～を断る □□□
申し出・誘い・依頼を断る。refuse / reject と言い換えられる。「（音量など）を下げる」の意味もある 例 *She turned down the job offer.* 彼女はその仕事の申し出を断った。

11 stand by (~) （～を）支持する・味方する □□□
そばに立つ→味方する。support と同じ。「待機する」の意味もある（stand by for orders） 例 *I'll stand by you whatever happens.* 何があっても君の味方だよ。

12 make up one's mind 決心する □□□
decide / determine と同じ。make up one's mind to do（～しようと決心する）の形も多い 例 *I've made up my mind to study abroad.* 留学しようと決心した。

13 talk A out of ~ing A を説得して～をやめさせる □□□
talk A into ~ing（説得して～させる）と対で覚える。out of＝～から外へ→やめさせる 例 *My parents talked me out of quitting school.* 両親は私を説得して退学を思いとどまらせた。

内容一致問題 QUESTIONS

英文を読んで、それぞれの問いに対して最も適切なものを 1〜4 から 1 つ選びなさい。

問1 アッシュの実験について、本文の内容と一致するものはどれか。

1. 参加者全員が一度も集団に合わせなかった。
2. ほかの「参加者」は役者で、わざと間違った答えを言っていた。
3. 実験は日本で行われた。
4. 線の長さを見分けるのはとても難しい問題だった。

問2 第3段落によると、人が集団になじみたいと強く思うのはなぜか。

1. 人間は生まれつき一人でいることを好むから
2. 歴史の大部分で、集団に属することが生き残りに関わっていたから
3. 目立つことが現代の社会では評価されるから
4. 集団の答えのほうがいつも正しいから

問3 第5段落で筆者が勧めていることとして最も適切なものはどれか。

1. Supporting a friend who is under pressure and speaking up when something is wrong.
2. Always agreeing with the majority to avoid trouble.
3. Refusing every invitation from classmates.
4. Waiting until everyone else has spoken before deciding.

熟語チェック CHECK 意味に合う英語の熟語を書こう（答えは「熟語」のページ）

1 先に行く・（ためらわずに）進める

2 〜をばかにする

3 （規則・習慣など）に従う

4 〜に所属する

5 （集団に）なじむ

6 〜を恥じている

7 〜に典型的である

8 〜することはできない

9 〜せざるをえない

10 〜を断る

11 （〜を）支持する・味方する

12 決心する

13 A を説得して〜をやめさせる

背景知識 アメリカの心理学者アッシュが1950年代に行った「同調実験」は、明らかに正しい答えが分かっていても、周りの多数派が間違った答えを言うと、それに合わせてしまう人が多いことを示した。一方で、一人でも自分と同じ答えを言う人がいると同調は大きく減ることも分かっている。日本の「空気を読む」文化と結び付けて語られることが多いが、同調はどの社会にも見られる人間共通の心理である。

全訳 TRANSLATION 色の太字は熟語の部分

1 他の7人と一緒に部屋に座っていると想像してほしい。あなたは1本の線を見せられ、ほかの3本のうちどれが同じ長さかを尋ねられる。答えは明らかだ。ところが、あなたより前の全員が同じ間違った答えを言う。自分の目を信じるべきか、それとも**ためらわずに**集団に同意すべきか。

2 これは、1950年代にアメリカの心理学者ソロモン・アッシュが行った一連の有名な実験の設定だった。ほかの「参加者」は役者で、間違った答えを言うよう指示されていた。本当の参加者の約4分の3が、少なくとも1回は集団に合わせた。後で多くの人が、ほかの人たちに**笑いものにされる**のが怖かったと語った。

3 なぜ私たちは、明らかに間違っているときでさえ他人**に従って**しまうのか。人間は社会的な動物であり、歴史の大部分において、集団**に属する**ことは生き残りに関わる問題だった。仲間外れにされることは死を意味しかねなかったのだ。だから、私たちが**なじみ**たいという強い欲求を感じたり、目立つこと**を恥ずかしく思ったり**するのも不思議ではない。

4 同調はしばしば日本**に典型的だ**と言われ、日本では「空気を読む」ことがよく話題になる。しかしアッシュは実験をアメリカで行っており、似た結果は多くの国で得られている。その圧力がどこにでもあること**は否定できない**。社員は、ほかの皆がそうしているからというだけで遅くまで**残らざるをえない**かもしれないし、誘い**を断り**たい生徒も、付き合いが悪いと思われないように受けてしまうかもしれない。

5 幸い、その圧力は、たった一人でも反対する人がいれば劇的に弱まる。アッシュの研究では、役者が一人だけ正しい答えを言うと、参加者ははるかに自分の目を信じるようになった。だから、友人が圧力をかけられていたら、その人の**味方になろう**。そして、何かが間違っているといったん**心に決めた**なら、そう口に出そう。ほかの人**を説得して**悪い決定**をやめさせる**ことができるかもしれない。

要旨 人は社会の中で生き残るために集団に合わせようとする強い傾向を持ち、明らかな間違いにさえ同調してしまう。しかし一人でも反対者がいれば圧力は弱まるので、仲間の味方になり、声を上げることが大切である。

解答・解説 ANSWERS

問1 2 **問2 2** **問3 1**

問1 正解 2 根拠は第2段落の The other "participants" were actors told to give wrong answers.（ほかの「参加者」は間違った答えを言うよう指示された役者だった）。よって 2 が正解。1 は About three quarters ... went along with the group at least once（約4分の3が少なくとも1回は合わせた）と逆。3 は第4段落に carried out his experiments in the United States とある。4 は第1段落に The answer is obvious（答えは明らか）とあり矛盾する。

問2 正解 2 根拠は第3段落の for most of history, belonging to a group was a matter of survival. Being rejected could mean death.（歴史の大部分で集団に属することは生き残りの問題で、仲間外れは死を意味しかねなかった）。よって 2 が正解。1 は Humans are social animals と逆。4 は even when they are clearly mistaken（明らかに間違っているときでさえ）とあり、集団が正しいとは限らない。3 は we are ashamed of standing out と反対の内容。

問3 正解 1 根拠は第5段落の if a friend is being pressured, stand by them と、once you have made up your mind that something is wrong, say so（間違っていると決めたら口に出そう）。たった一人の反対者で圧力が弱まるという研究結果を踏まえた助言なので 1 が正解。2 は筆者の主張と正反対。3 は第4段落の誘いを断りにくいという例をねじ曲げたもの。4 は本文で勧められていない。